



決算説明会  
2017年 3月期  
上期決算

# 業績報告 経営施策

2016年11月2日  
ローム株式会社 澤村 諭

# AGENDA

## ■ 2017年3月期上半期 業績報告

2017年3月期上半期 業績報告

売上の変動要因 上半期

営業利益の要因別前年比較 上半期

## ■ 2017年3月期通期 業績予想

2017年3月期 通期 修正計画

売上の変動要因 通期

営業利益の要因別前年比較 通期

## ■ ロームの戦略

## ■ 設備投資計画

## ■ 株主還元



## 2017年3月期 上半期実績 業績報告 (計画比)

(単位：億円)

	'17/3期 上半期 実績	'17/3期 上半期 期初計画	計画比 増減額	計画 増減率
売上高	1,718	1,720	▲2	▲0.1%
営業利益	157	76	81	107.7%
(対売上比率)	(9.2%)	(4.4%)	-	-
経常利益	82	87	▲5	▲5.2%
(対売上比率)	(4.8%)	(5.1%)	-	-
純利益	81	56	25	45.3%
(対売上比率)	(4.7%)	(3.3%)	-	-
EBITDA	344	298	46	15.4%
(対売上比率)	(20.0%)	(17.3%)	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (106.43円) (110.00円)

## 2017年3月期 上半期実績 業績報告 (前年比)

(単位：億円)

	'17/3期 上半期 実績	'16/3期 上半期 実績	前年比 増減額	前年比 増減率
売上高	1,718	1,896	▲178	▲9.4%
営業利益	157	234	▲77	▲32.6%
(対売上比率)	(9.2%)	(12.4%)	-	-
経常利益	82	327	▲245	▲74.8%
(対売上比率)	(4.8%)	(17.2%)	-	-
純利益	81	261	▲180	▲68.9%
(対売上比率)	(4.7%)	(13.8%)	-	-
EBITDA	344	415	▲71	▲17.3
(対売上比率)	(20.0%)	(21.9%)	-	-

期中平均レート  
(¥/US\$)

(106.43円) (121.50円)

# 売上の変動要因

(億円)

		計画比	前年比	
<b>‘17/3期上半期売り上げ増減の主な要因</b>				
<b>プラス要因</b>	1	車載パワートレイン・ADAS分野の売上拡大	+8	+27
	2	スマートホン新機種向け売上拡大	▲17	+14
	3	車載ボディ制御分野の売上拡大	+6	+10
<b>マイナス要因</b>	1	大型LCDパネル向けドライバ売上減	▲5	▲55
	2	ウェアラブル機器の生産調整	0	▲43
	3	従来型カーオーディオ市場の縮小	▲1	▲23
	4	照明機器市場から撤退	▲1	▲18
	5	ゲーム機市場の縮小	+2	▲17
	6	事務機市場の縮小	▲4	▲17
上記計		▲12	▲122	

**全体 (▲2) (▲178)**

# 営業利益の要因別前年比較 上半期

(単位：億円)

	'16/3期上半期 実績	'17/3期上半期 実績	差
(主な要因)	234	157	▲77

## 売上げ要因

為替による売上減少に伴う限界利益の減少	▲166	➡	▲175
売上減少に伴う限界利益の減少	▲9		

## 変動費・固定費の要因

コストダウン効果	37	➡	98
為替による変動費/固定費の減少	109		
減価償却費の増加（為替影響除く）	▲20		
在庫未実現利益/在庫固定費	▲20		
その他	▲8		

合計

▲77



## 2017年3月期通期 計画比及び前年比

(単位：億円)

	'17/3期 通期 修正計画	'17/3期 通期 期初計画	期初計画比	前年比
売上高	3,340	3,430	▲90	▲183
営業利益	235	140	95	▲101
(対売上比率)	(7.0%)	(4.1%)		
経常利益	165	165	±0	▲201
(対売上比率)	(4.9%)	(4.8%)		
純利益	120	100	20	▲136
(対売上比率)	(3.6%)	(2.9%)		
EBITDA	645	640	5	▲74
(対売上比率)	(19.3%)	(18.7%)		

期中平均レート(¥/US\$) (103.46円) (通期110.00円)

↳ (上半期 106.43円 10月レート 101.12円 11月以降100円)



## 売上の変動要因(計画比及び為替影響を除いた計画比)

為替補正 期初計画時想定為替110円へ補正

(億円)

'17/3期通期売り上げ増減の主な要因		計画比	為替補正 計画比
プラス要因	1 車載パワートレイン・ADAS分野の売上拡大	+21	+30
	2 海外家電分野の売上拡大	+21	+28
	3 産機市場での全体的な売上拡大	+13	+25
	4 AV機器市場の回復	+11	+18
	5 車載ボディ制御分野の売上拡大	+8	+18
マイナス要因	1 スマートホン向け計画見込み違い	▲56	▲41
	2 大型LCDパネル向けドライバ売上減	▲26	▲21
	3 事務機市場の縮小	▲14	▲7
	4 カメラ市場の縮小	▲14	▲11
上記計		▲35	+35

全体 (▲90) (+54)





## 売上の変動要因 (前年比及び為替の影響を除いた前年比)

為替補正 前年実績平均為替120.00円へ補正

(億円)

		前年比	為替補正 前年比	
<b>'17/3期通期売り上げ増減の主な要因</b>				
<b>プラス要因</b>	1	車載パワートレイン・ADAS分野の売上拡大	+42	+66
	2	スマートホン新機種向け売上拡大	+27	+65
	3	産機市場での全体的な売上拡大	+30	+58
	4	海外家電分野の売上拡大	+18	+36
	5	車載ボディ制御分野の売上拡大	+6	+32
<b>マイナス要因</b>	1	大型LCDパネル向けドライバ売上減	▲85	▲72
	2	ウェアラブル機器の生産調整	▲46	▲41
	3	照明機器市場から撤退	▲40	▲40
(ファンダリーを除く)上記計		▲37	+104	

**全体 (▲183) (+181)**

# 営業利益の要因別前年比較 通期

(単位：億円)

'16/3期通期 実績	'17/3期通期 見込み	差
336	235	▲101

## (主な要因)

### 売上げ要因

為替による売上減少に伴う限界利益の減少	▲364	➡	▲225
売上増加に伴う限界利益の増加	139		

### 変動費・固定費の要因

コストダウン効果	76	➡	124
為替による変動費/固定費の減少	240		
減価償却費の増加（為替影響除く）	▲63		
在庫未実現利益/在庫固定費	▲40		
その他	▲89		

合計	▲101
----	------

# ロームの戦略

## 1. 市場改革

- ・自動車市場へ注力する
- ・産業機器市場を開拓する
- ・海外顧客のウエイトを上げる

## 2. 商品改革

- ・4つのソリューションに注力する
- ・デジタル制御された高機能**アナログソリューション**
- ・SiCを中核とした**パワーソリューション**
- ・MEMS・フォトニクスを展開する**センサソリューション**
- ・超小型デバイス技術を提供する**モバイルソリューション**

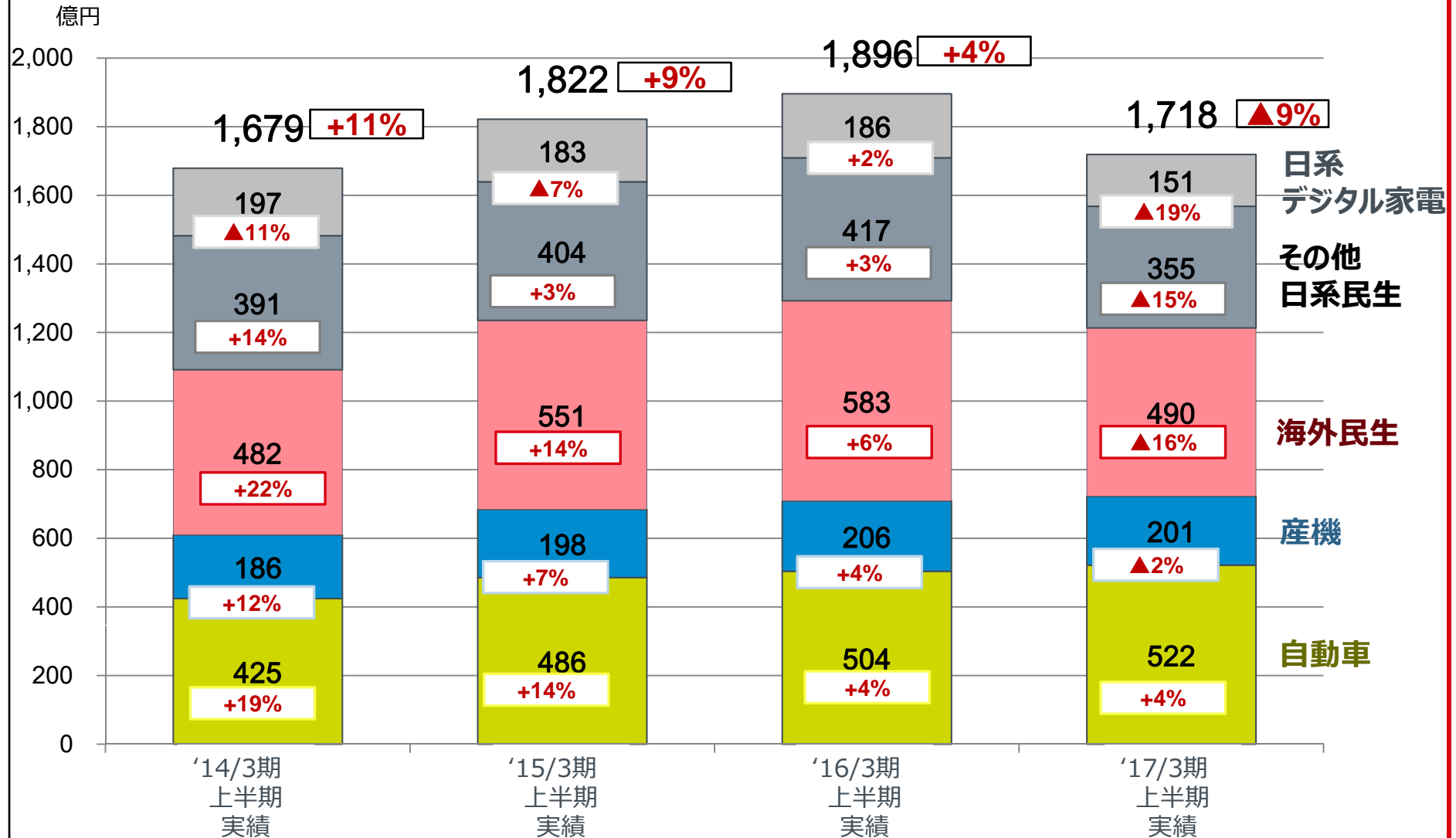
## 3. 生産革新

- ・世界一の工場を目指す
  - RPS(Rohm Production System)活動を徹底し生産革新を進める
  - 「ゼロディフェクト」実現を目指し、生産工場の現場力の向上を図る



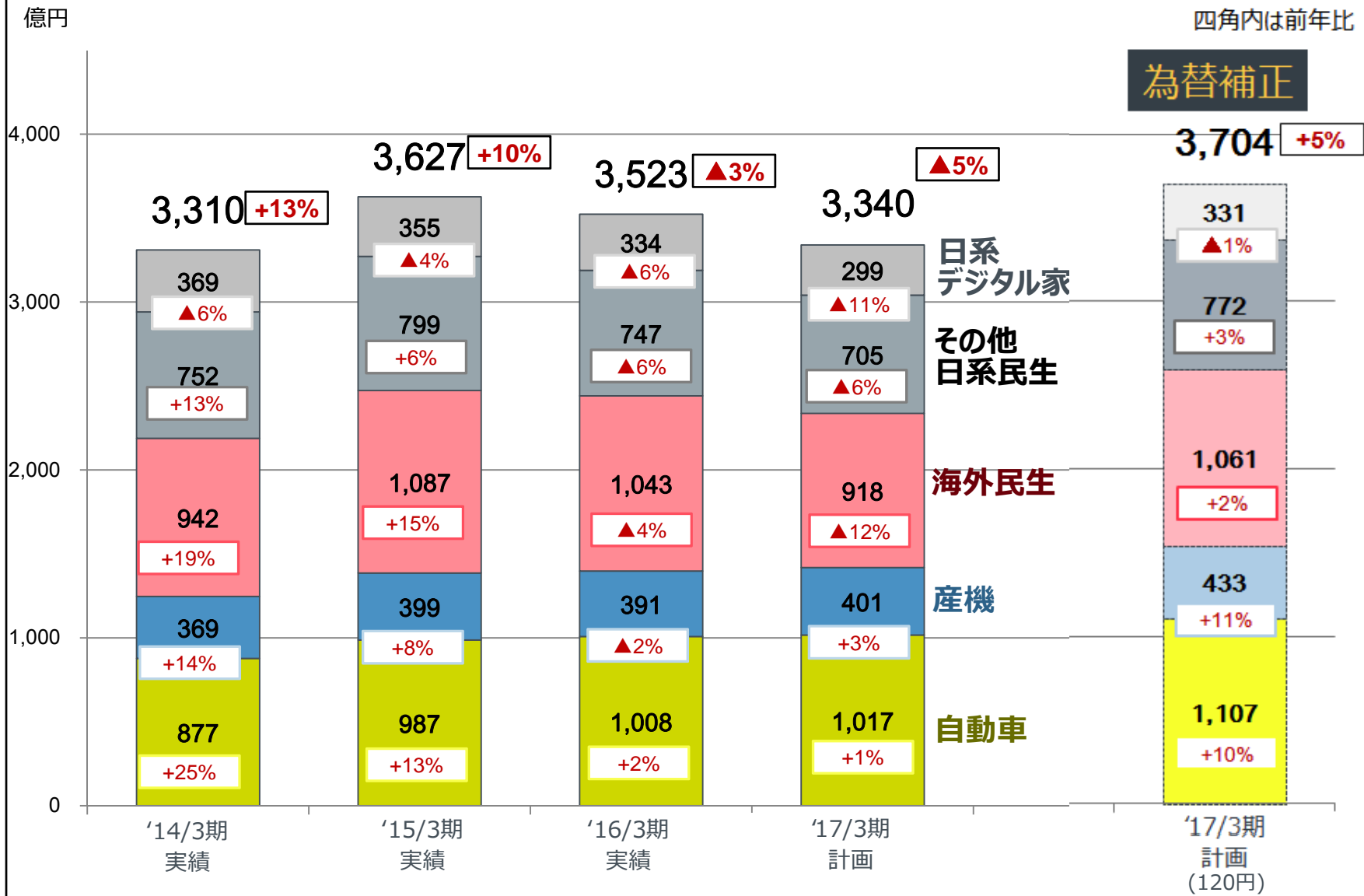
# ロームの戦略 4年間の市場別販売推移(上半期比) 業種別推移

四角内は前年比



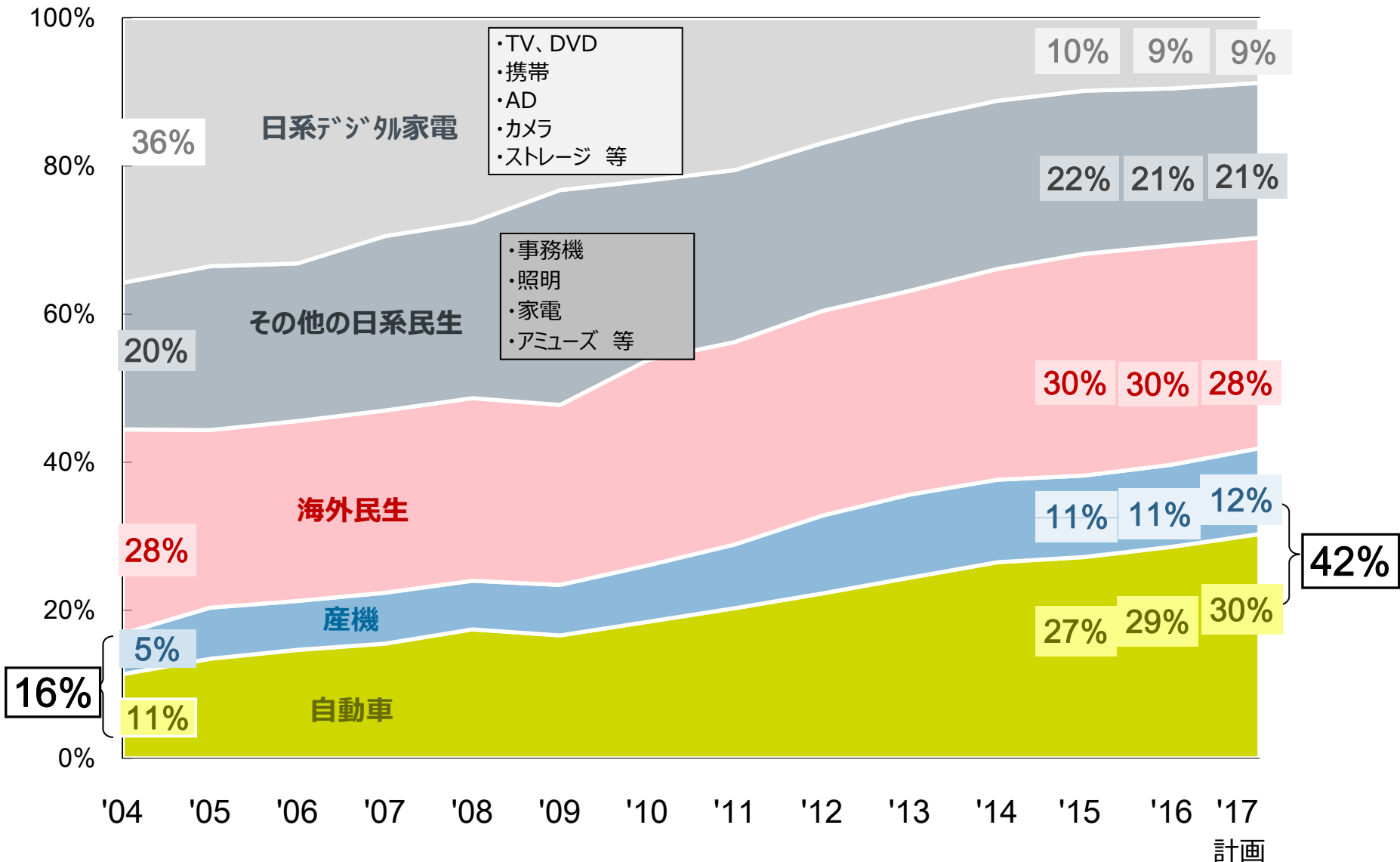


# ロームの戦略 4年間の市場別販売推移(通期比) 業種別推移





# ロームの戦略 業種別構成比推移 (2017年3月期計画)

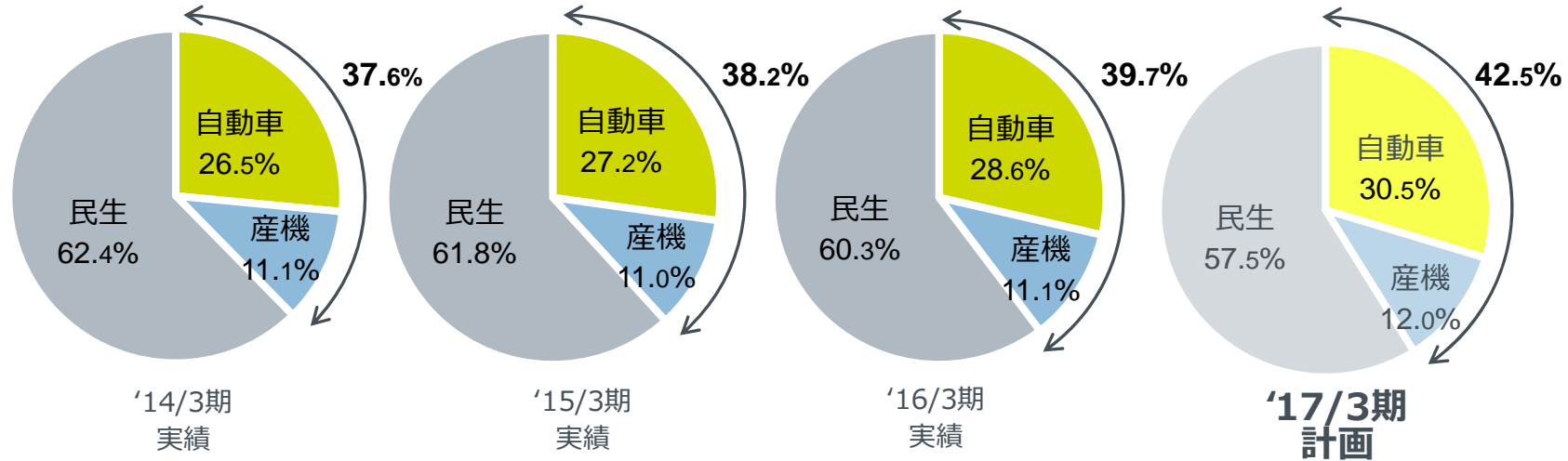


© 2016 ROHM Co.,Ltd.

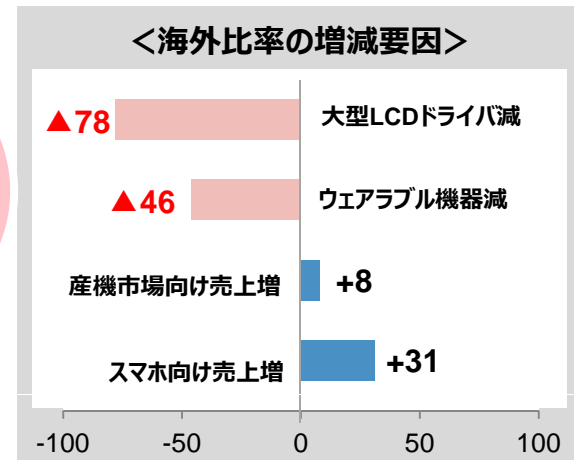
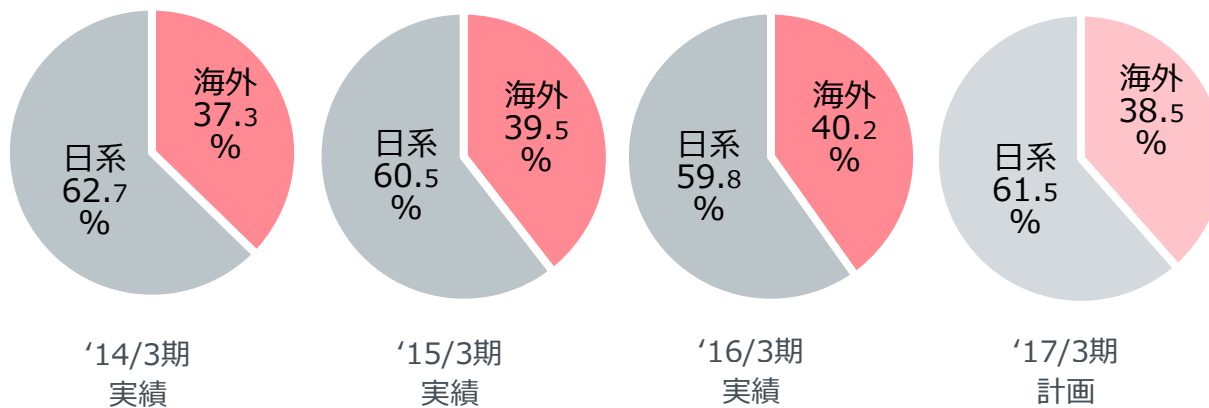


# ロームの戦略 自動車・産機比率および海外比率の推移

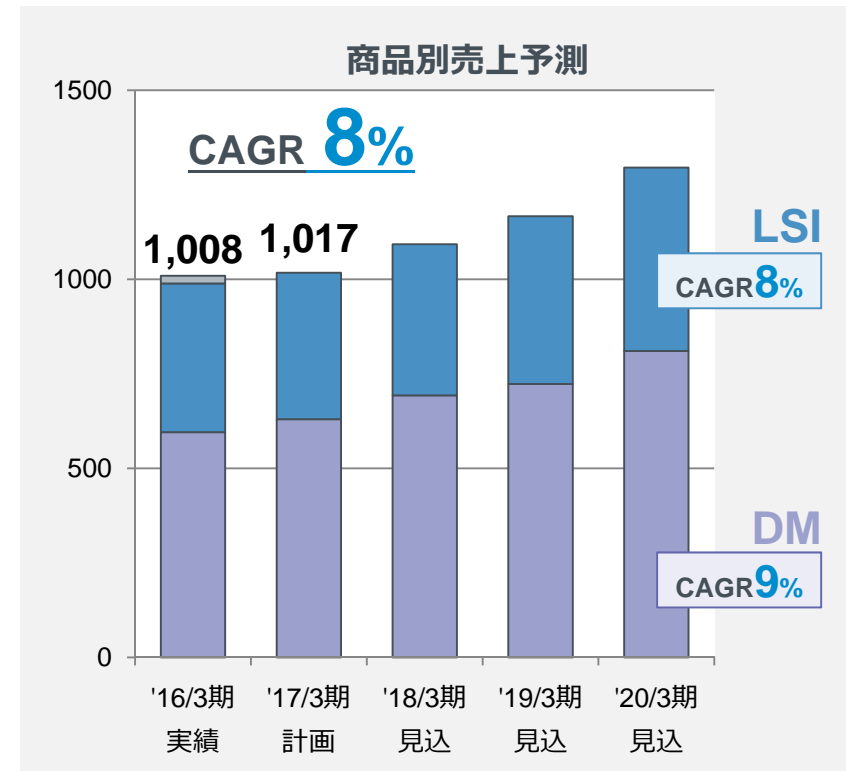
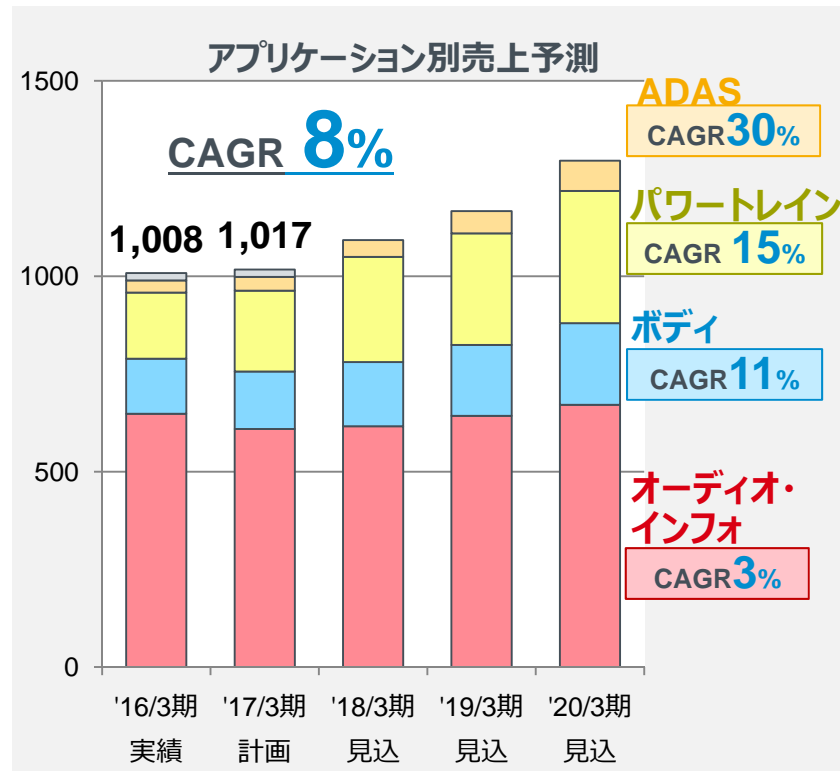
## 自動車+産機市場向け販売比率を早期に50%まで高める



## 海外系顧客の販売ウエイトを早期に50%まで高める



# 1.市場改革 自動車市場に注力する



■ 車載向け **アナログ・パワーソリューション** のデザインインが広がる

■ インフォテインメント系では2018年以降、オーディオの減少をディスプレイオーディオがカバー

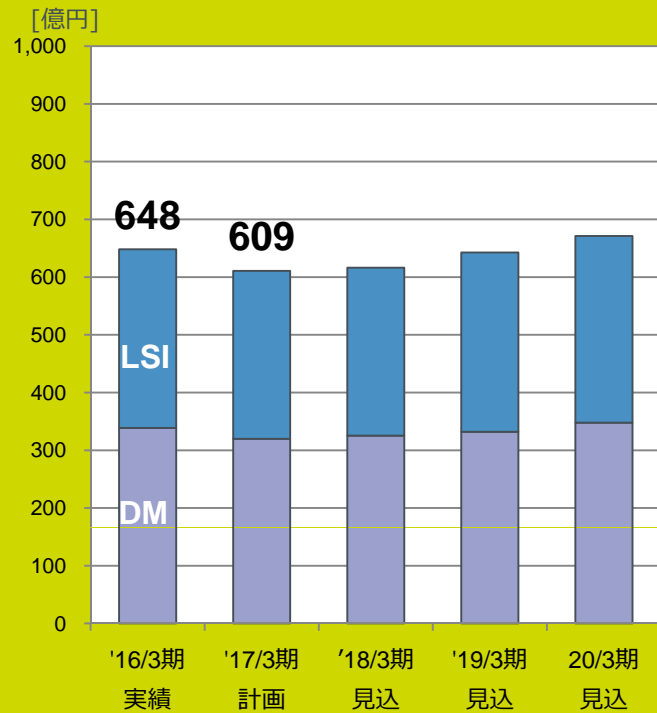
■ ボディ・パワートレイン、ADAS分野の売り上げが飛躍的にUPする



# 自動車 広がる採用事例

## オーディオ・ インフォテインメント分野

CAGR 3%



### 【採用が進む商品群】

- ハイレゾ用オーディオIC
- ディスプレイオーディオ用IC+ ● DM

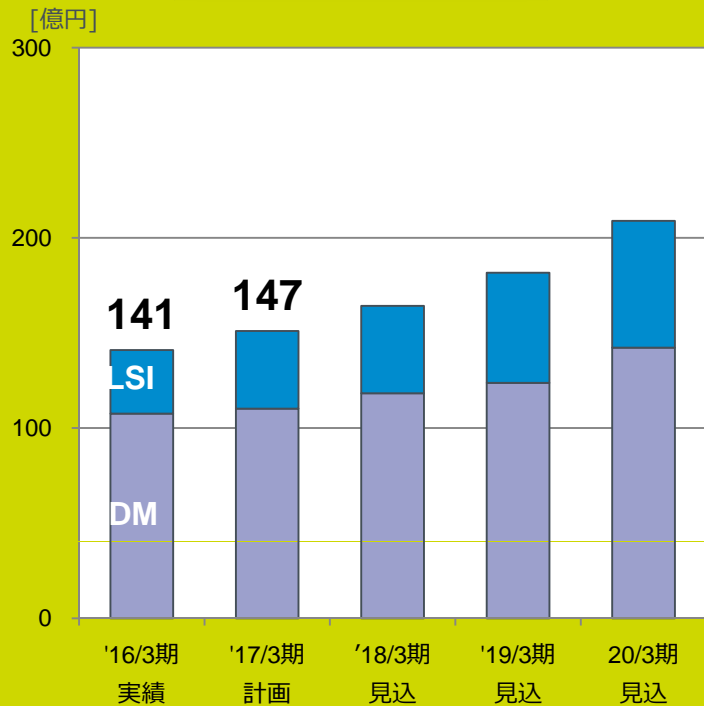


- ルネサスCPU/リファレンス電源IC
- LCDパネルコントロール用IC+電源IC  
【TV用パネルから車載へ開発リソースをシフト】

# 自動車 広がる採用事例

## ボディ制御分野

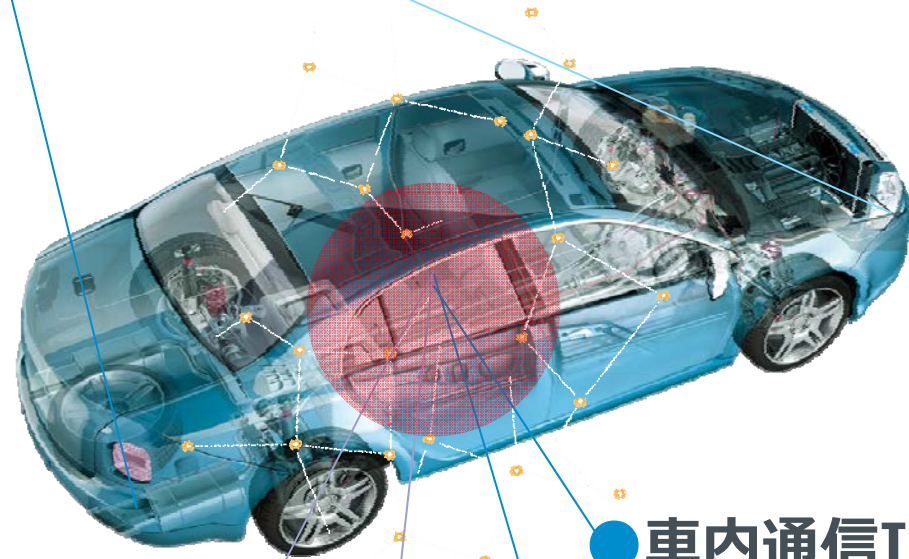
CAGR **11%**



### 【採用が進む商品群】

#### ● LEDドライバIC+IPD

- ・On/Offスイッチ
- ・マトリクスLEDドライバ
- ・レベラー用モータIC



● 車内通信IC

● 多入力監視IC

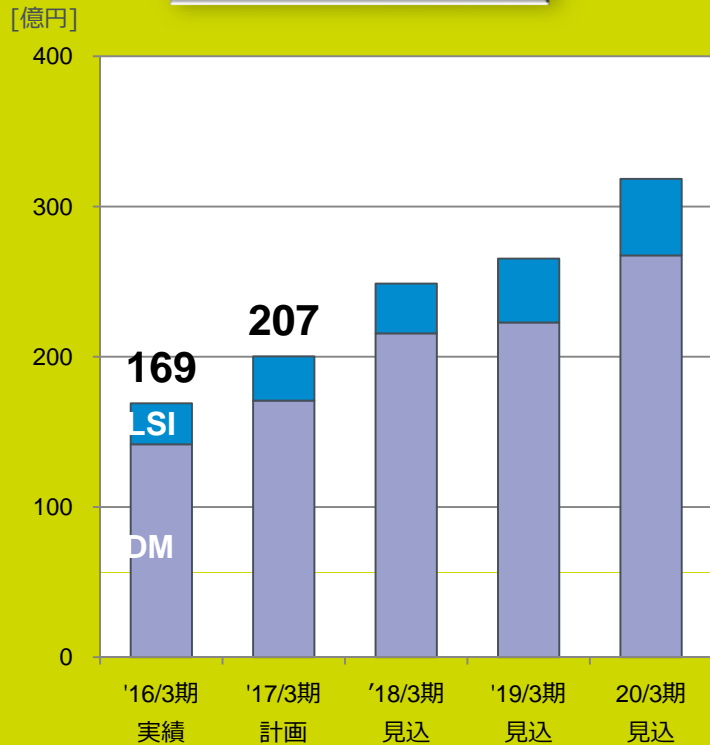
● 逆接防止用整流Di

● 小信号TR/DiシェアUP

# 自動車 広がる採用事例

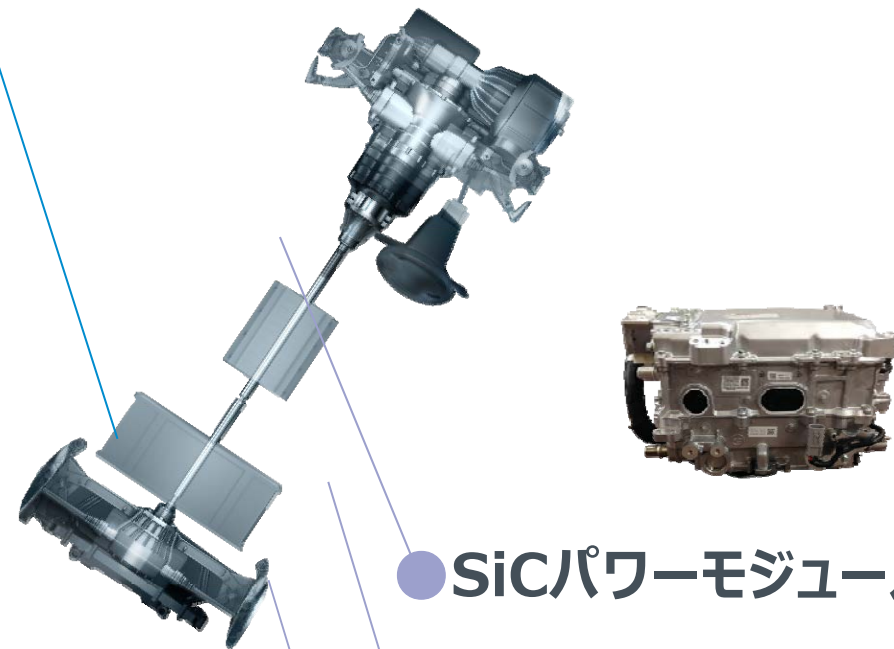
## パワートレイン分野

CAGR 15%



【採用が進む商品群】

●EV/HEV絶縁ゲートドライバIC+●SiC  
【SiCの特性を最大限に発揮】

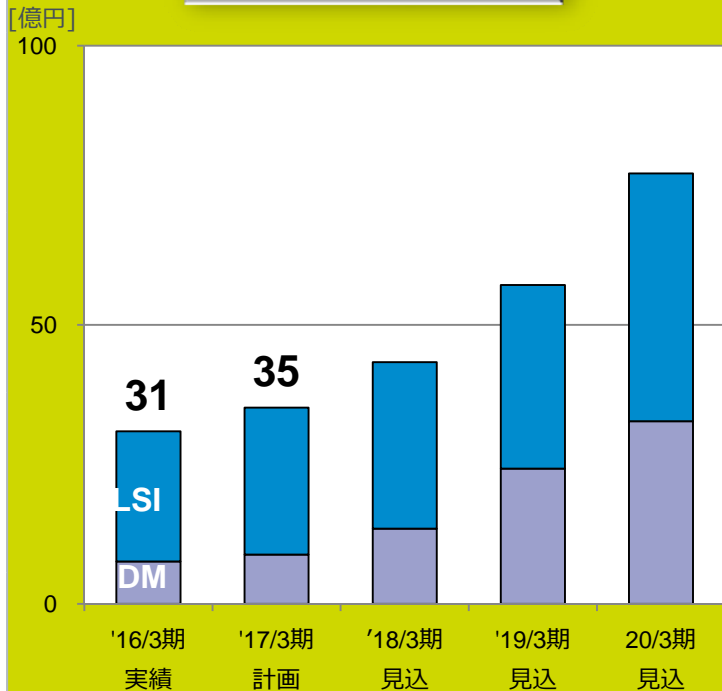


- SiCパワーモジュール
- イグナイタ用IGBT
- 大電流検出用抵抗器

# 自動車 広がる採用事例

## 安全走行・ADAS 分野

CAGR 30%



【採用が進む商品群】

● ソナー用信号処理IC

● カメラ用電源IC

● レーダーモジュール用電源IC  
【機能安全を考慮したシステム電源】

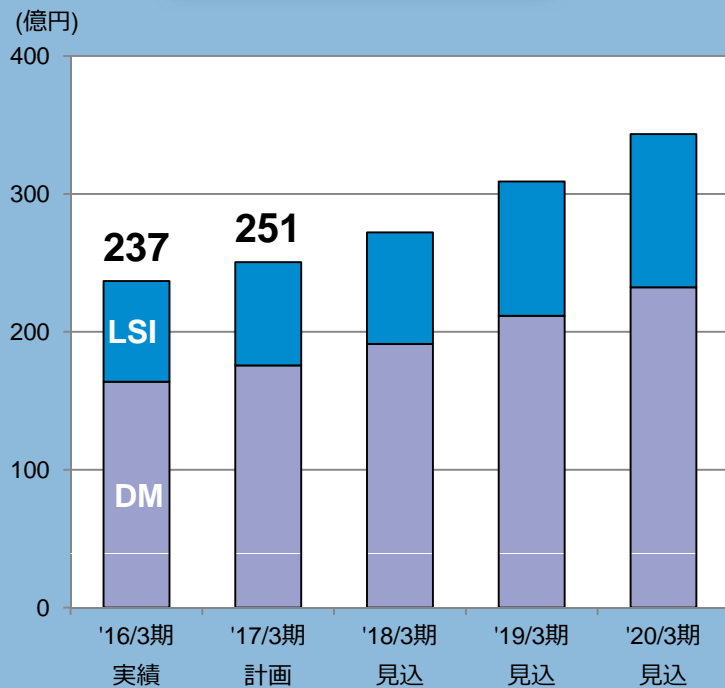




# 産業機器 広がる採用事例

## FA・エネルギー分野

CAGR 11%



【採用が進む商品群】

### ● インバータ用電源ソリューション

- ・絶縁DC/DC IC
- ・絶縁ゲートドライバ
- ・SiC



### ● デジタル電源IC

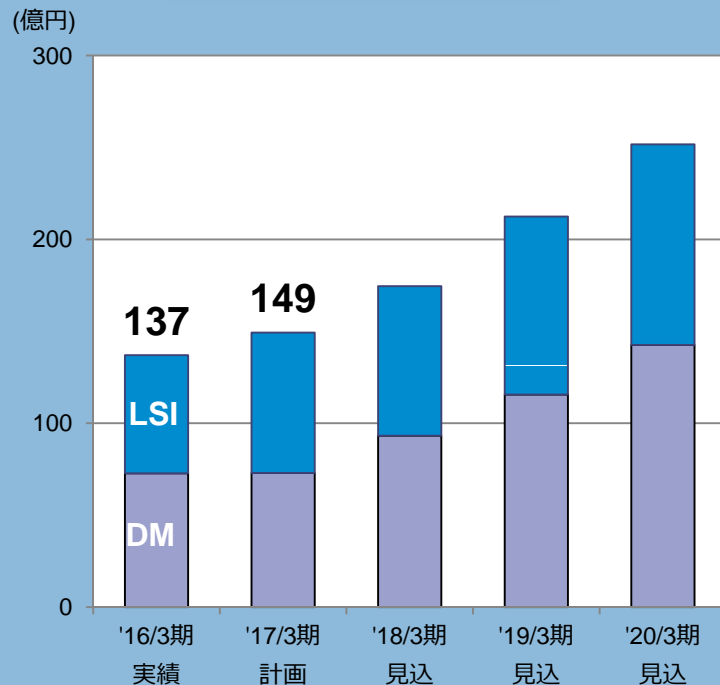
### ● SiCパワーデバイス

■ **パワーソリューション**のデザインインが進む

# 産業機器 広がる採用事例

## IoT・インフラ・HEMS分野

CAGR **19%**



### 【採用が進む商品群】

- Wi-SUNモジュール(Aルート/Bルート)
- センシングデバイス

- ・モーションセンサ
- ・環境センサ



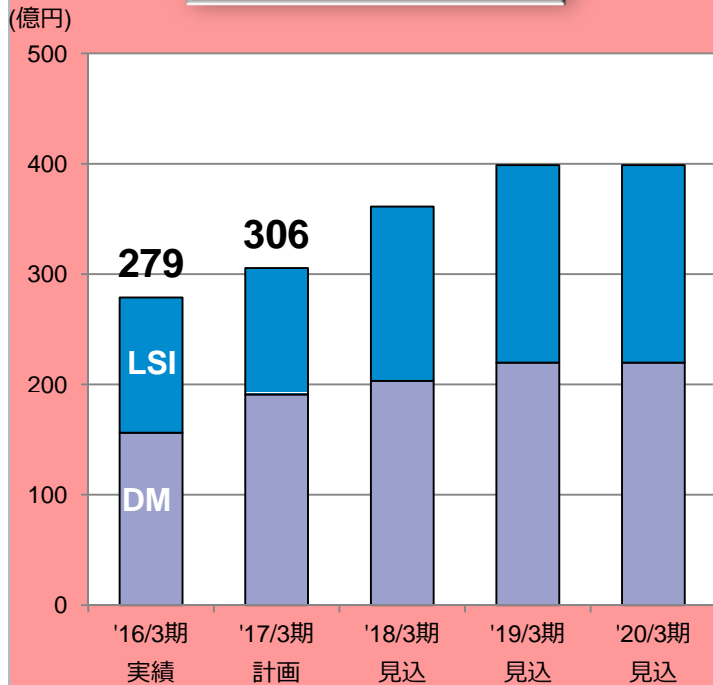
■ **センサソリューション**のデザインインが進む



# 海外民生 広がる採用事例

## スマートフォン分野

CAGR 9%



【採用が進む商品群】

- カラーセンサ
- 近接・照度センサモジュール
- ワイヤレス給電コントローラIC



- カメラモジュール
  - ・手ぶれ補正ドライバIC
  - ・ホール素子

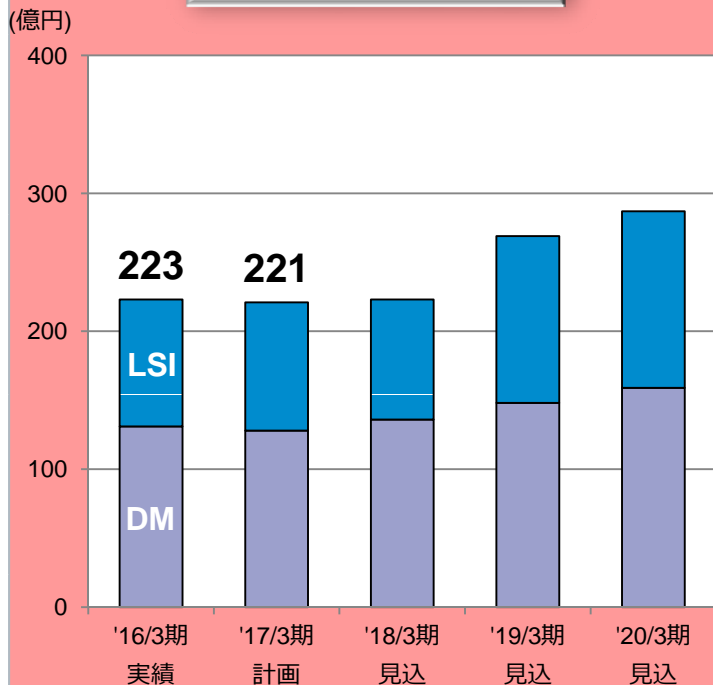
- RASMID
- 【採用顧客が広がる】

■ センサ・モバイルソリューションの採用が進む

# 海外民生 広がる採用事例

## 海外家電分野

CAGR 9%



### 【採用が進む商品群】

#### ● 家電用電源ソリューション 【省エネ効果が世界で認められる】

- ・AC/DC、DC/DCコントロールIC
- ・高耐圧MOS-FET、IGBT、FRD
- ・大電流検出用抵抗器



#### ● 汎用デバイス

#### ● モータードライブソリューション

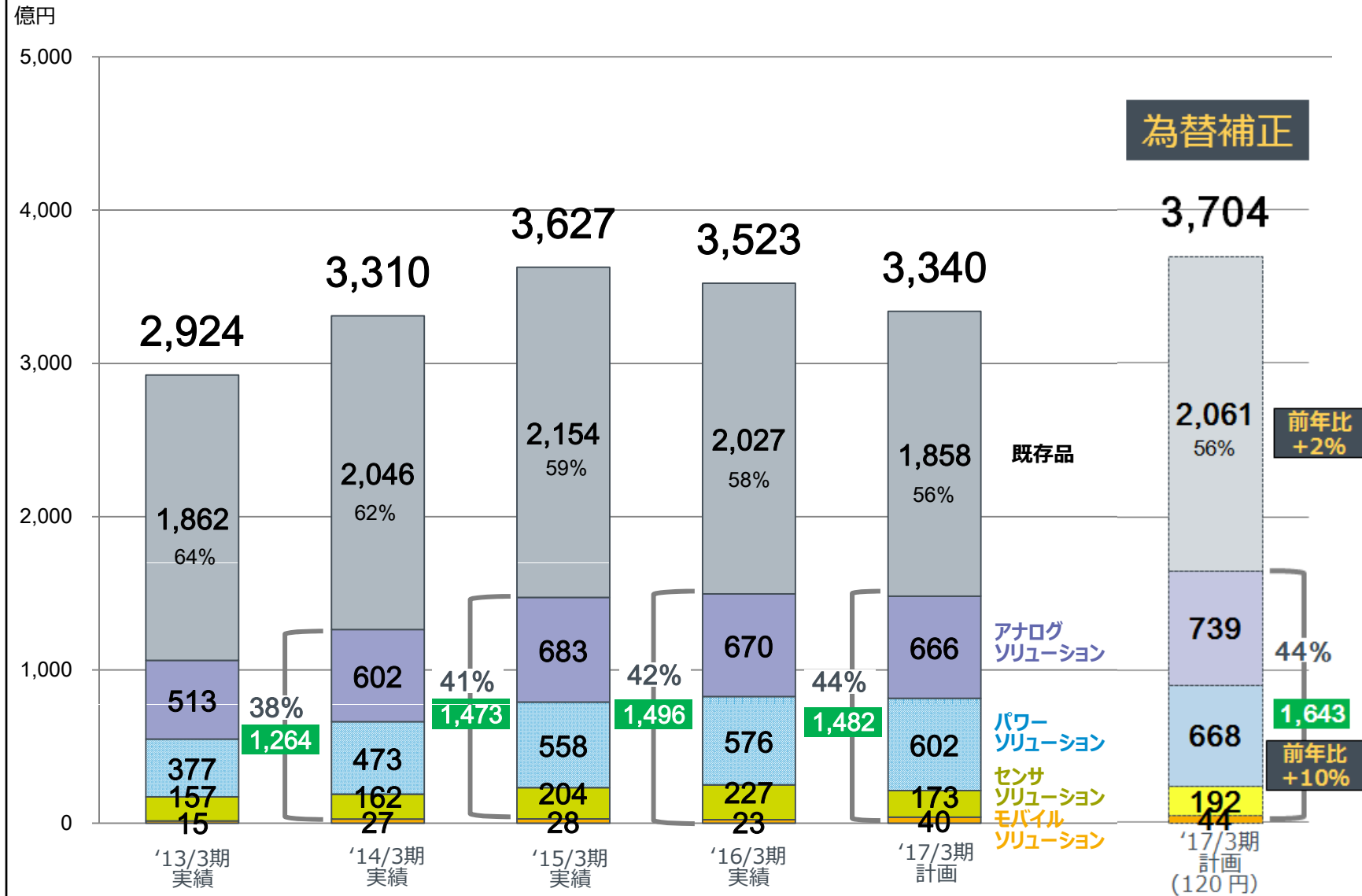
- ・モータドライバIC
- ・中耐圧 MOS-FET

■ **パワーソリューション**のデザインインが進む





## 2.商品改革 4つのソリューションの販売推移



### 3.生産革新 将来の成長に向けた生産体制の強化

#### 全ての生産工場を対象に品質投資を進める

#### RPS(ROHM Production System)活動を徹底し生産革新を進める

- 3現での徹底したムダ取り活動
- 原価低減とワンランク上の品質の実現
- ものづくりは人づくりから

+

RPS活動の手法を基に  
製造リードタイム半減化を目指す

#### 「ゼロディフェクト」実現を目指し、生産工場の現場力の向上を図る

バラツキを極小化したものづくりで不良ゼロを目指す

## IoTモデル工場化を 展開中



## 設備投資計画

不急の投資を絞り込み、将来の成長につながる分野に集中する。

### 増強

- ・パワーデバイス関連
- ・新パッケージ関連
- ・マレーシア新工場の立ち上げ

### 絞り込み

- ・近隣土地取得延期
- ・フィリピン新工場の建設延期

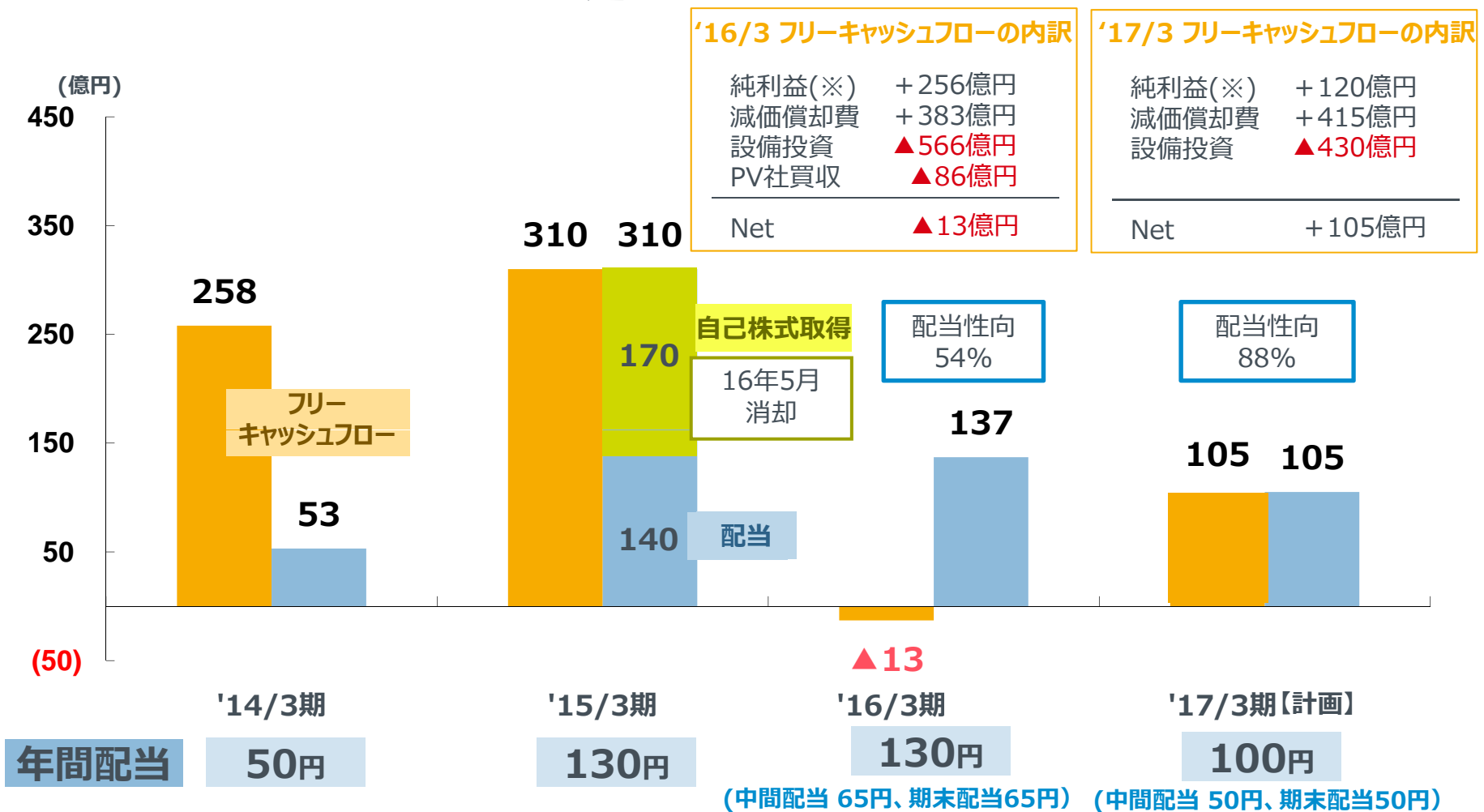
(単位：億円)

	合計	生産能力向上	土地・建物	新商品	品質向上	その他
'16/3期 実績	566	241	154	40	40	91
'17/3期 当初計画	510	154	110	105	63	78
'17/3期 修正計画	430	170	62	61	50	86



# 株主還元

- ① '17/3期の配当は期初計画通り100円を予定（配当性向88%）。
- ② フリーキャッシュフロー100%還元、配当性向は30%以上の方針を堅持し、引き続き、業績向上による株主還元の強化に努めます。



本資料に記載されている計画値につきましては、ロームグループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、その達成をロームグループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、本資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信を参照していただきますようお願いいたします。

